

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部

令和三年度十二月 入賞句一覧 投句数 九百五十一句



特選

遠藤 幹郎 選

霜やけが足の小指であばれてる

大垣市

坂

祐奈（小六）

冬になると手足に霜やけが出来やすくなります。その霜やけが、「足の小指であばれてる」と表現したところが、読者を引きつけます。相当、霜やけが進んでいるのでしよう。「あばれてる」に実感がこもっています。霜やけ薬をぬるなどして、早くよくなって下さい。

クリスマスなにをたのむかなやんじやう

大垣市

高橋

小都（小二）

クリスマスプレゼントを両親から何が欲しいか問われたのでしよう。作者は、何を頼もうかと、迷っているようですが、「なやんじやう」からわかります。素直で正直な作者の人がらが伝わってきます。ぜひ、すてきなクリスマスイブや、クリスマスを迎えて下さい。

霜おりていつもと違う通学路

加茂郡川辺町

堀井

咲来（中一）

いつも通りなれた通学路を通って登校する気分が、いつもと違うというのです。今朝は、寒くてあたり一面、真っ白な霜が覆われた中を登校する作者の気持ちがとてもよく伝わってきます。本格的な冬は、霜から雪が降るようになってからでしょう。寒さに負けず、元気に登校して下さい。

秀逸

くりごはんかぞくみんなでたべたいな

大垣市

大はし

りお（小二）

どんぐりがぼうしをなくしこまってる

大垣市

土居

宥太（小四）

枯木たち次への準備を進めてる

大垣市

秋吉

桃歌（中二）

初めての修学旅行秋日和

大垣市

加藤

尊心（小六）

冬桜風がふいても残ってる

大垣市

高井

颯人（小六）

古墳から見わたす街並み冬の風

大垣市

加藤

奏心（小六）

学校へ行こうと一歩霜を踏む

加茂郡川辺町

木下

瑛介（中一）

運動会ひびくおうえんやる気出す

大垣市

太田

陽希（小四）

ポケットにカイロを入れて学校へ

大垣市

岡部

翔太（小六）

落ちそうなつららが屋根にぶらさがり

大垣市

紙本

悠希（小六）

入選

小中学生の部

水面に枯木の影がゆらいでる

愛知県豊橋市

三原 和真(中三)

おちばさんふめばくしゃくしゃおとをだす

大垣市

たかだ はるな(小二)

いもほりでさがしてほつてどろだらけ

大垣市

川合 立人(小二)

ばしようさん頭の上に落ち葉散る

大垣市

清水 日葉里(小六)

もやい舟水門川で冬越しだ

大垣市

遠藤 海翔(小六)

お正月年に一度の大集合

加茂郡川辺町

佐伯 和真(中二)

夜の空見上げて見れば満月が

加茂郡川辺町

中山 竜鳳(中二)

さむいけどあいさつすればポカポカだ

大垣市

すず木 らら(小二)

すきやきだおなかないっぱい食べすぎた

大垣市

西科 とも生(小二)

ゆずぶろだいいにおいしていいきぶん

大垣市

いしはら ゆうと

クリスマスおばあちゃんちでプレゼント

大垣市

かわの らい(小二)

ゆきのあさゆきだまつくりあてまくる

大垣市

細川 隣(小二)

運動会せつせんで負けくやしいな

大垣市

松岡 暖大(小四)

あきまつりやたいいっぱいどれにしよう

大垣市

外部 鳳也(小四)

クリスマス夜中に届くプレゼント

大垣市

淵 徳玖(小六)

さんぽ道冬夕やけがてらしてる

大垣市

泉 侑乃介(小六)

ひだ牛で家族みんなとすき焼だ

大垣市

近藤 愛姫(小六)

部屋の中猫といっしょに冬ごもり

大垣市

林 大翔(小六)

クリスマス今日は早くに目が覚めた

大垣市

河合 皓生(小六)

紅白を最後まで見る大晦日

大垣市

河本 瑛誠(小六)

選者吟

細りても光のこして枯尾花

幹郎

